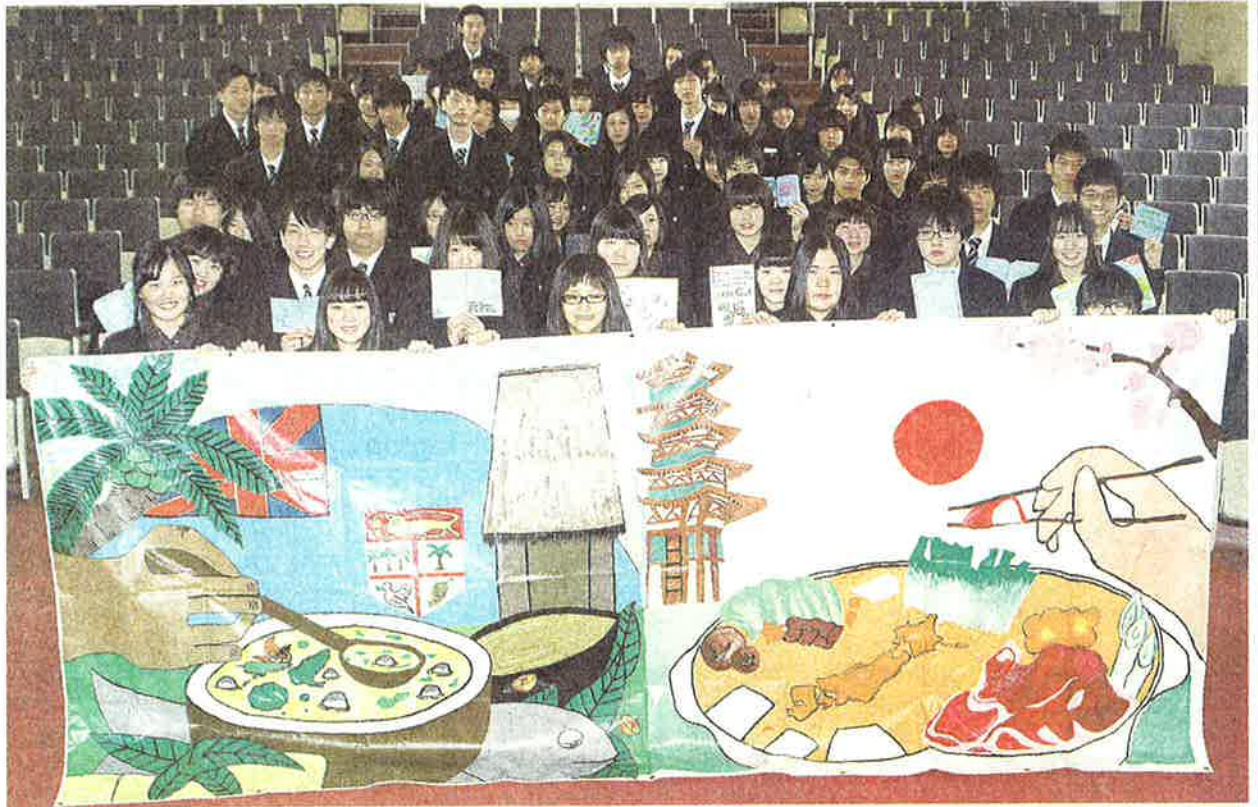


完成した絵画と海星学院高校の2年生



友好の絵画

国際交流の一環として、室蘭・海星学院高校（香川謙二校長、233人）の2年生73人と、フィジー共和国の高校が共同制作していた絵画が完成した。生徒たちは「絵がコミュニケーションのきっかけになれば」と願っている。

同校は、絵画を通じて国内外の学校の相互交流を進める「アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト」に加盟しており、今回で4回目の活動。ジャスパール・ウィリアムス・ハイスクールをパートナーに縦1.5メートル、横3.6メートルの作品作りに取り組んだ。

テーマは「文化」。生徒が母国の代表的な料理や建築物、風景をビニール

フィジーの高校と 海星学院共同制作

ルシートに描いた。16日には同校の2年生にお披露目され、海を越えて出来上がった作品に歓声が上がった。合わせて「今年が良い年になりますように」などと書かれたメッセージカードも届いた。

中心メンバーの一人、岡部ゆりあさんはすき焼きや五重の塔などの色塗りを担当。インターネット電話を使った打ち合わせが不調だったため、描かれたフィジー料理の詳細など分からない点もあり「知らないこともたくさんある。これから聞いてみたい」と今後の交流に意気込んでいた。この絵画は同校の玄関ホールで4月10日まで展示される。

（吉本大樹）